

令和2年度 事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

社会福祉法人信達福社会 法人本部
特別養護老人ホームあつかし荘
総合老人福祉施設梁川ホーム
特別養護老人ホーム・デイサービス川俣ホーム

事業報告書 目次

I 法人本部事業報告	1
1 法人経営の安定	
(1) 法人運営体制の確立.....	1
(2) 標準化された正確かつ効率的な事務遂行体制の確立.....	3
(3) 人材確保と育成.....	4
(4) 親しまれる法人づくり.....	6
(5) 介護サービスの質の向上.....	6
 II 各施設事業報告	7
1 あつかし荘.....	7
(1) あつかし荘全事業	
(2) 特別養護老人ホームあつかし荘	
(3) あつかし荘S. S (短期入所生活介護)	
2 梁川ホーム.....	9
(1) 梁川ホーム全事業	
(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム	
(3) 梁川ホーム (短期入所生活介護)	
(4) ケアハウス広瀬	
(5) 梁川ホームデイサービスセンター	
(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所	
(7) 伊達市梁川地域包括支援センター	
3 川俣ホーム.....	12
(1) 川俣ホーム全事業	
(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム	
(3) 川俣ホーム (短期入所生活介護)	
(4) 川俣ホームデイサービスセンター	
 III 各施設利用状況等	15
 事業報告の附属明細書.....	17
各施設市町村別・月別利用状況	

事業報告

令和2年度、社会福祉法人信達福祉会は、法人の運営理念「安全・安心・ゆとり」の実現を目標に「安定した経営基盤の確立と充実」を目指し、経営組織の体制強化と財政基盤の充実を図るとともに、人材の確保と育成に努めてきた。

I 本部事業

1 法人経営の安定

(1) 法人運営体制の確立

① 経営基盤の安定化

7月より毎月経営改善委員会を開催し、給与制度、職員採用・再任用計画、経営シミュレーション等を協議して当面の課題を整理した。併せて経営改善委員会ワーキンググループでは、職員全体で課題を共有し、介護現場における経費節減、業務の見直し等の取り組みをすすめ、3月に経営改善計画を策定した。

規程の改正では、川俣ホーム等運営規程のほか就業規程、退職金規程、給与規程の一部改正などを行った。このうち、川俣ホーム等運営規程の一部改正は、特別養護老人ホーム川俣ホーム及び川俣ホーム短期入所定員変更並びに川俣ホームデイサービスセンターを地域密着型とするための一部改正であり、川俣ホームの経営安定化方策の一つとして、また川俣町第8期介護保険事業計画に示された地域介護需要の要請に応えることとした。

② 経営組織のガバナンス強化

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年3月17日の理事会及び3月25日の評議員会は、いずれも書面決議とし、就業規程、給与規程の一部改正のほか、令和元年度補正予算、令和2年度事業計画、当初予算等、提案事項全てに理事、評議員全員の同意をいただいた。5月15日には令和元年度の事業執行に係る監事監査を受け、各施設の担当者より事業報告及び決算報告を行い、決算については適正であるとの評価と収支状況の確認による事業の効率的な運営についてのご意見を頂いた。

経営改善委員会においては、経営能力の向上と組織統制としてのガバナンス強化に向け法人本部機能の強化に向けた議論を行った。

③ 事業運営による内部管理体制強化

公認会計士における会計指導を毎月実施し、適切な財務会計処理を行った。また、様々な法律改正に伴う諸規程の改正ほか、法令遵守を周知徹底強化するとともに、ホームページ等による情報開示をすすめ業務の

透明性の確保に努めた。

▼評議員会（5回）

回	日 程	出席評議員	欠席評議員	出席理事	出席監事	議 案
1	令和2年 6月18日 【定時評議員会】	8	2	2	2	ケアハウス広瀬管理規程の一部改正、ケアハウス広瀬運営規程の一部改正、令和元年度事業報告、令和元年度決算報告、理事・監事の報酬等について、理事の選任 等
2	9月24日	8	2	2	-	信達福祉会就業規程の一部改正、ケアハウス広瀬管理規程の一部改正、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算 等
3	12月22日 (書面決議)	10	0	-	-	育児休業・子の看護休暇・育児のための時間外労働及び深夜業の制限並びに育児短時間勤務に関する規程の一部改正、介護休業・介護のための時間外労働及び深夜業の制限並びに介護短時間勤務に関する規程の一部改正、特別雇用職員の処遇に関する規程の一部改正、給与規程の一部改正、補正予算 等
4	令和3年 2月18日 (書面決議)	10	0	-	-	川俣ホーム運営規程の一部改正、川俣ホーム短期入所運営規程の一部改正、川俣ホーム介護予防短期入所運営規程の一部改正、川俣ホームデイサービスセンター運営規程の一部改正、川俣ホーム介護予防デイサービスセンター運営規程の一部改正、川俣ホームデイサービスセンター認知症型運営規程の一部改正、川俣ホーム介護予防デイサービスセンター認知症型運営規程の一部改正 等
5	3月18日	7	3	2		就業規程の一部改正、給与規程の一部改正、補正予算、事業計画、予算 等

※場所は第2回 伊達市梁川総合支所3階会議室

第5回 伊達市梁川中央交流館2階洋室

▼理事会（7回）

回	日 程	出席理事	出席監事	議 案
1	6月2日	8	2	ケアハウス広瀬管理規程の一部改正、ケアハウス広瀬運営規程の一部改正、事業報告、決算報告、理事・監事の報酬、定時評議員会の招集、施設長の任命 等
2	6月18日	6	2	理事の選任

3	6月19日	7	2	理事長の選定、常務理事の選定 等
4	9月16日	7	2	就業規程の一部改正、ケアハウス広瀬管理規程の一部改正、補正予算、梁川ホームエアコン工事契約の締結、評議員会の招集 等
5	12月10日	8	2	育児休業・子の看護休暇育児のための時間外労働及び深夜業の制限並びに介護短時間勤務に関する規程の一部改正、介護休業・介護休暇・介護のための時間外労働及び深夜業の制限並びに介護短時間勤務に関する規程の一部改正、特別雇用職員の処遇に関する規程の一部改正、給与規程の一部改正、補正予算、評議員会の招集 等
6	令和3年 2月9日	7	2	川俣ホーム運営規程の一部改正、川俣ホーム短期入所運営規程の一部改正、川俣ホーム介護予防短期入所運営規程の一部改正、川俣ホームデイサービスセンター運営規程の一部改正、川俣ホーム介護予防デイサービスセンター運営規程の一部改正、川俣ホームデイサービスセンター認知症型運営規程の一部改正、川俣ホーム介護予防デイサービスセンター認知症型運営規程の一部改正、評議員会の招集 等
7	令和3年 3月10日	8	2	就業規程の一部改正、育児休業・子の看護休暇育児のための時間外労働及び深夜業の制限並びに介護短時間勤務に関する規程の一部改正、介護休業・介護休暇・介護のための時間外労働及び深夜業の制限並びに介護短時間勤務に関する規程の一部改正、退職金規定の一部改正、給与規程の一部改正、旅費規程の一部改正、補正予算、事業計画、評議員選任・解任委員の選任、給食業務委託契約、役員賠償責任保険の締結、評議員の招集 等

※場所は第1、6回 伊達市梁川総合支所3階会議室

第2、3、4、5回 伊達市梁川中央交流館1階大研修室

第7回 伊達市梁川中央交流館2階洋室

▼外部会議・研修・セミナー

研修会名	日程	出席者
社会福祉法人理事研修	令和2年11月18日	常務理事

(2) 標準化された正確かつ効率的な事務遂行体制の確立

① 事務標準化の推進

法人事務担当者会議において、本部及び施設の事務範囲の確認、業務の見直し案の検討、併せて各種事務作業手順を担当者間で共有、確認することで、事務標準化に向けた課題を整理した。

② 事務効率化

給与管理や雇用管理をスムーズに行うために、人事管理システムを活用した事務の構築を目指した。また、経営改善委員会ワーキンググループや法人課長会議、法人事務担当者会議において、物品購入や備品整備等の情報を共有、比較検討することにより、コスト意識の醸成や経費削

減を図り、事務の効率化に努めた。

(3) 人材確保と育成

① 職員の計画的採用

採用においては新卒者の採用試験のほか、中途採用に向けたWEB就職説明会へ参加及び、法人独自の職場見学会及び就職説明会を実施した。施設内見学については感染症対策によりオンライン見学を行い、実際の職場の雰囲気を感じてもらうことができた。

▼各就職説明会等実績

	日程	主催	名称	来訪者	採用者
1	6月17日	福島県社会福祉協議会	第1回福祉の職場WEB説明会		0
2	7月20日	信達福祉会	信達福祉会職場見学会（梁川ホーム）	4	1
3	7月23日	信達福祉会	信達福祉会職場見学会（梁川ホーム）	5	2
4	7月30日	信達福祉会	職場見学会（梁川ホーム）	1	1
5	9月3日	信達福祉会	職場見学会（梁川ホーム）	1	1
6	9月18日	信達福祉会	職場見学会（梁川ホーム）	1	1
7	11月9日	福島労働局	介護就職デイ 福祉関係就職面接会	0	0
8	12月13日	福島労働局	ふくしま合同就職面接会	0	0
9	令和3年3月5日	福島県社会福祉協議会	第2回福祉の職場WEB説明会		0

- ・職員採用試験 10月12日 大卒等栄養士 2名合格
 // 10月20日 高卒介護職員 4名合格
 // 10月27日 大卒等相談員 1名合格
- ・中途採用 梁川ホーム2名（うち人材紹介による採用1名）
- ・定年再任用3名

② 信達福祉会生涯研修体系の整備

介護や福祉の職場に求められている職員としてだけでなく、社会の中の一人の人間として成長できることも目的として、各段階に応じた研修を行った。新人職員に対しても研修計画に基づいた入職時研修、プリセプターによる指導及び月に一度の集合研修を実施し、新人職員の着実な成長を促すことができた。また、役職者を対象とした就任時研修を実施し、必要とされる職責や権限の理解を深めた。

▼法人職員研修

	日程	対象	内容	参加人数
1	令和2年8月24日	次長・課長 副課長	課長・副課長に期待すること、信達福祉会の沿革、実務、リスクマネジメント研修V	8名
2	9月28日	副主任	副主任に期待すること、職責及び職務権限、サービスの質の管理・	19名

			改善、チームワーク、人材育成、家族とのコミュニケーション、リスクマネジメント研修Ⅱ	
3	10月22日	主任（就任者）	職責及び職務権限、サービスの質の管理・改善、人材育成、リーダーシップ研修Ⅱ、家族とのコミュニケーション、リスクマネジメント研修Ⅲ、役職者の心得	12名
4	11月30日	係長（就任者）	係長に期待すること、職責及び職務権限、法令・規定の理解、サービスの質の管理・改善、チームマネジメント、労務管理、人材育成、リーダーシップ、家族とのコミュニケーション、リスクマネジメント研修Ⅲ	6名
5	令和3年 3月11日	プリセプター	信達福祉会の研修制度の概要及びプリセプター制度の理解	10名

▼法人本部による管理職派遣研修

研修会名	日程	出席者
介護労働者雇用管理責任者講習	9月15日、10月23日	本部事務局次長、 梁川ホーム在宅介護課長、 川俣ホーム施設介護課長兼 務在宅介護課長
社会福祉法人 経営塾 （動画閲覧）	9月24日～12月31日	本部事務局次長
リクルーター養成研修	9月29日	あつかし荘施設介護課長 梁川ホーム在宅介護課長 川俣ホーム施設介護課長兼 務在宅介護課長
B C P（事業継続計画）策定研 修会（動画閲覧）	10月14日 11月10日	梁川ホーム総務課副課長
社会福祉法人会計実務講座初級 コース（動画閲覧）	12月22日～24日	梁川ホーム在宅介護課長

③ 多様な雇用環境の整備による人材確保

高卒者6名、専門学校卒1名の採用による若い労働力の導入に加え、3名の定年再任用も行った。また、55歳以上の職員を対象とした定年再任用に関する意向調査を実施するなど、再任用制度の確立を図り多様な働き方に対する取組みに努めた。

④ 職員定着促進のための取組み

人事考課制度の計画的な実施と被考課者との面談により、職員一人ひとりの能力開発や育成に直接結びつける機会を確保することができた。併せて、職務遂行能力の考課を行うことで仕事を進めていくうえでの必要な知識や技術について理解をすすめることができた。

⑤ 魅力ある職場づくりの推進

「介護の雇用管理改善チェック表」（介護労働安定センター）を活用し、「働きがい」として仕事のやりがいや達成感が感じられ、「働きやすさ」として安心して仕事ができる労働環境と人材定着の取り組みを推進した。さらに、働きやすい職場基準のひとつである「えるぼし認定」（「女性活躍推進法」に基づく基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度）取得に向けた取り組みも行った。

（４）親しまれる法人づくり

① 積極的な情報発信・地域交流

コロナ禍により地域交流は難しい状況であったが、施設内の各種行事や利用者の様子などを頻繁にホームページ・施設広報紙に掲載することにより信達福祉会の魅力や施設内の状況を積極的に地域に発信した。

② 公益的な取り組みの推進

社会福祉法人の本来の責務でもある、他事業においては困難な福祉ニーズに対応するため、社会福祉法人利用者負担軽減を実施し低所得者であっても介護保険サービスを利用しやすくした。また３密回避の観点から前年度よりも頻度は少なくはなったが、認知症カフェへの講師派遣などにより認知症を支える地域づくりの推進を行った。

（５）介護サービスの質の向上

① リスクマネジメント体制の強化

全施設にリスクマネジャー養成研修修了者を配置したことにより、リスクマネジメント委員会を有効に機能させることができ、結果的により質の高い介護サービスの提供につなげる事ができた。

感染症対策においては、４月９日に理事長を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置、以降毎月１回感染症対策本部会議を開催し、感染予防対策のフローチャートや事業継続のための計画等を策定した。また感染拡大の状況を踏まえて在宅勤務や感染症対応特別手当の規程も整備した。併せて、各課長、看護師らで構成する危機管理班においては、施設内における衛生用品の充足状況の確認、家族への対応状況、施設内の区分け（ゾーニング）などの情報交換を行い、法人全体として体制の強化を図った。

② 権利擁護の意識向上

苦情解決委員会を８月４日に開催し、令和元年度の苦情受付、事故、身体拘束についての報告を行い、顧問弁護士より苦情の背景や状況を知ること、結果的に福祉サービス事業者自身の質の向上につながるなどのアドバイスを頂いた。

▼苦情対応、身体拘束、事故発生状況

	令和元年度	令和2年度	増減
苦情対応件数	13 件	3 件	-10 件
身体拘束件数	2 件	0 件	-2 件
事故発生件数	221 件	227 件	+6 件

③ サービス向上のための取組み

全事業で満足度調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、意見・要望に対して改善を検討した。また毎月、法人全職員を対象とした認知症介護マニュアルの学習機会を設け、職員全体の認知症介護のスキルアップを図った。

④ 法人各事業運営の円滑化

課長会議及びリスクマネージャー会議並びに事務担当者会議を定期的の実施し、各事業及び課題を整理し解決に努めた。

II 各施設事業報告

1 あつかし荘

(1) あつかし荘全事業

① 安定した施設運営

交付金を活用した新型コロナウイルス感染防止対策を進めたことにより、安全な介護を継続することができ安定した稼働につながった。同時に新たな加算の取得とコスト意識の醸成による経費の節減に努めて収支改善を図った。

② 人材（財）育成

法人キャリアパスに基づき、オンライン研修への参加及び法人役職者研修への参加を進めたほか、人事考課制度による目標管理や面談により一人ひとりが意欲を持って働ける職場づくりに努めた。

③ 地域社会との連携

オンラインでの地域ネットワーク会議等への出席、公益的取り組みとしての桑折町こども食堂事業への協力、利用者と直接接触のないボランティアの受入れ等により地域との連携を図った。あわせて広報紙・ホームページで情報を発信し、地域から親しまれる施設づくりに努めた。

④ 安全確保の強化

新型コロナウイルス対策に重点を置き、感染症対策委員会を毎月開催して衛生用品の確保、園内環境の整備、職員教育を徹底し、利用者及び職員の感染を防いだ。また、定期的に防災訓練を行ったが、密をさける

ため書面での訓練とするなどして災害に備えた。2月13日の福島県沖地震発生時には震度6強の揺れによりボイラー設備等の破損が見られたが、早急に復旧対応することで利用者生活への影響を避けることができた。

⑤ 権利擁護

満足度調査により家族の意見・要望を把握し、法人内サービス評価で自施設サービスの課題を抽出して改善課題への取り組みを行った。また、接遇マナー向上に取り組み、利用者の尊厳を守る意識を高めるように努めた。

⑥ 質の高い介護サービスの実践

多職種協働で利用者の状態に応じたリハビリ、認知症介護、看取り介護に取り組んだ。特に歯科医師との連携を推進し、個別の口腔ケアを充実させることができた。

⑦ ケアマネジメント力の向上

多職種でのカンファレンスを細やかに行い、利用者主体の施設サービス計画を立案し、サービス提供を計画通りに実行することができた。

(2) 特別養護老人ホームあつかし荘

① 新型コロナウイルス感染対策のために少人数もしくは個別にするなど工夫を凝らしてドライブや行事等を行い、利用者に楽しんでいただくことができた。また、オンライン面会設備を整え、感染症予防を図りながらご家族との面会を継続することができた。

② 歯科医師の指導のもと多職種で口腔ケアに力を入れ、食事摂取の向上が図られ栄養状態の改善と誤嚥性肺炎の予防につながった。また、体力を維持できたことで生活全般の充実にもつなげることができた。

③ 主治医との連携のもと、利用者の思いや要望に添った看取り期の介護を多職種協働で行い、職員・家族で情報を共有しながら最期までその方らしく過ごすためのサポートに努めた。

④ 旬の食材を使用した献立と行事食により季節感ある食事の提供を行ったほか、嗜好調査にもとづく利用者になじみのある食事の提供に努めた。

⑤ 入所待機者の状況確認と面接を適宜進め、空きベッド発生から入所までの期間を短くして入所の要望に少しでも早く応えるようにし、安定した稼働によって収益の安定にもつながった。

(3) あつかし荘S・S（短期入所生活介護）

① 利用者・家族・関係機関との連携を図りながら、ケアプランに基づいた介護の提供を行うとともに、ケアマネ事業所への空床情報の発信、日

程調整やケア内容への要望などについて丁寧な相談を行い、利用者の希望に沿って安心してサービスを受けられるように努めた。

2 梁川ホーム

(1) 梁川ホーム全事業

① 安定した施設運営

毎月事業計画の進捗状況を確認し、その要因分析を行い、各事業所では予算の執行状況を把握することでコスト意識を高めた。事務消耗品等も購入金額を確かめるなど、一人ひとりが意識して経費削減に努めた。

② 人材育成

新人研修や職位別研修は計画に沿って実施し、職員の資質向上に努めた。外部研修は新型コロナウイルスの影響で中止になったものも多かったが、下半期は動画やオンライン研修として実施され、それらに積極的に参加することで職員として必要な知識の習得や自己研鑽を図ることができた。

③ 地域社会との連携

夏祭りの縮小や認知症カフェ及び出前講座の自粛、地域行事の中止などを余儀なくされ、地域住民との協力や交流の機会が減少したが、広報紙の定期発行やホームページによる情報発信を積極的に行い、施設を知ってもらう取り組みに力を注いだ。

④ 安全確保の強化

新型コロナウイルスをはじめ感染症に関する情報収集を行い、標準予防対策の徹底や備蓄品の確保及び協力医療機関との連携を強化し、感染の予防に努めた。また、施設内において修繕の必要な箇所は速やかに対応し、利用者の安全を守り、快適に過ごしていただけるよう努めた。

⑤ 権利擁護

接遇マナープロジェクトを開始し、施設における接遇マナーの課題を抽出した。その上で、身だしなみや言葉遣いなど基本的な接遇マナーから改善に向けた取り組みを行い、福祉施設職員としての意識を高めた。

⑥ 質の高い介護サービスの実践

利用者の身体状態に関して得られた情報をデータ化し、より効果的な機能訓練を実施することができた。また、レクリエーション機器や言語機能ロボットも継続して活用し、運動機能や口腔機能の維持につなげた。

⑦ ケアマネジメント力の向上

利用者本位のサービス支援やマネジメント力の向上を図るために、関係機関や他事業所との会議及び、動画やオンライン研修に多くの職員が

参加することによって情報交換を行い、ケアマネジメント力を向上させた。

(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム

- ① 1年を通して行事が縮小となったが、行事担当者やジョイサポート委員会のメンバーを中心に、利用者に寄り添い、出来ることは何かを考え、編み物や折り紙、塗り絵などの個別対応や、グループごとの夏祭り、及び新年会などを行い、レクリエーション活動を通して、利用者の生活の質の向上を図ることができた。
- ② 利用者の日々の健康状態を把握し、協力病院医師からの指示内容を各職種へ速やかに伝達することで、異常の早期発見、対応につなげることができた。また、褥瘡予防委員会を中心に、保湿剤の活用や皮膚科医、多職種との連携で褥瘡を予防し、皮膚状態を良好に保つことができた。
- ③ 機能訓練は感染症対策のため集団リハビリの機会を減らし、個別リハビリが中心となったが、日常生活動作訓練や機能訓練を実施する中で、身体状態の変化を把握し、他の職種と情報共有することで怪我の防止に努めた。また、転倒による骨折が発生したが、多職種で評価し、環境の調整や介助方法の再検討、早期のリハビリの介入などで利用者の状態回復に努めた。
- ④ 季節を感じられるような行事食の提供や選択食の充実で、食べる楽しみを感じていただくことができた。また、多機能型の調理機器を導入することで、料理の質と衛生面を保持できた。なお不測の事態に備えた食事提供ができるよう炊き出し訓練を定期的に行い、2月13日の地震の際は非常食で対応し、滞りなく食事提供をすることができた。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症予防のため面会制限が長期化する中、オンラインの面会やガラス窓越しでの面会、電話や手紙のやり取りなど、一人ひとりの状況に即した対応を心がけ、利用者と家族がふれあえる機会を作ることができた。また、来園時には生活の様子を詳しく伝えたり、電話でこまめな状態報告を行うことで、家族との良好なコミュニケーションを維持することができた。

(3) 梁川ホーム（短期入所生活介護）

- ① 利用者、家族を適切に支援できるようケアマネジャーとの良好な関係作りに努めた。また、サービス担当者会議では、利用中の様子や心身状態を共有し、会議で得た情報を的確に各職種に伝達することで、利用中の安全な食事提供や排便コントロール、環境整備に努め、在宅生活が継続できるように支援することができた。

- ② 入所受け入れ時の検温や利用者および家族の健康状態の確認、体調不良時の早期対応のほか、チェック表を活用したりお知らせを配付するなどして、感染症の蔓延防止及び安全安心な受け入れに努めた。

(4) ケアハウス広瀬

- ① 入居者の生活状況や心身状況を多職種で理解及び検討し、安心して自立した生活が継続できるよう、適切な食事形態の変更や生活環境の整備、体調変化の早期発見や悪化予防、適切な受診、往診対応を行った。
- ② 新型コロナウイルス対策により面会、外出の制限をお願いしたが、家族への連絡や情報共有を密にし、連携を図ることができた。行事や余暇活動に関しては、感染症予防対策を実施したうえで入居者に参加を呼びかけ、入居者同士の親睦を深めることができた。

(5) 梁川ホームデイサービスセンター

- ① 利用者に関する身体状態や生活状況などの情報の共有を行い、安全な介助に努めた。一人ひとりのニーズに応じた介護計画書を多職種で作成し、希望に沿った質の高いサービスの提供に努めた。また、楽しみながら心身に働きかけ、日常生活が継続できるようなレクリエーションや個別機能訓練を行うことができた。
- ② 地域密着型サービス運営推進会議の開催やデイサービス便りの配付を通じて情報発信を行った。また、各事業所に対しては、積極的に利用情報を公開して利用を促すことができた。

(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

- ① 感染症予防対策のため定期的な訪問回数は減らしたが、電話での状況確認や相談への随時対応を行い、利用者の生活を支援し、必要なサービスが滞りなく受けられるよう努めた。
- ② 感染予防のため認知症カフェは開催できなかったが、地域支援連絡会を通して、地域のケアマネジャーとの交流及び情報共有を図ることができた。また、オンライン研修や検討会に参加し、情報及び知識を身につけ、ケアマネジメント力の向上につなげることができた。

(7) 伊達市梁川地域包括支援センター

- ① 伊達市や他の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との会議・研修会及び民生委員協議会へ定期的に参加することで、行政・医療・事業者等の関係機関との連携強化を図り、利用者の適切な支援につなげることができた。また、自立支援型地域ケア会議における多角的な意見

も参考にし、介護予防ケアマネジメントの質の向上を図り、利用者個人の支援を行うことができた。

- ② 新型コロナウイルス感染予防のため、出前講座など地域での啓発活動は自粛せざるを得なかったが、地域課題発掘のため、民生委員と介護事業所とで地域ケア会議を実施し、問題意識の共有を図った。
- ③ 虐待の通報があった際には速やかに市に報告しケース会議等を開催するとともに、成年後見人制度の活用や老人福祉施設への入所等の支援を行った。

3 川俣ホーム

(1) 川俣ホーム全事業

① 安定した施設運営

各事業における計画の進捗状況や予算の執行状況を毎月確認し、収入と支出の要因分析をすることで全職員がコスト意識を高くもち、経費節減に努めた。また、令和3年度からの特養、ショートステイの定員変更及びデイサービスの地域密着型への移行については川俣町と協議のもと、事業変更による収支改善を見込んでいる。突発的な修繕に対しては、専門業者の意見を取り入れて対応をすることができた。

② 人材（財）育成

法人キャリアパス要件に基づいた研修は、計画の変更はあったものの概ね予定通り実施することができた。資格においては介護福祉士を2名、介護支援専門員を1名が取得した。またオンライン外部研修を活用し、業務に必要な研修については受講することができた。

③ 地域社会との連携

地域包括支援センターと連携し、予防体操教室や認知症カフェに講師として職員を派遣し、地域社会とのつながりを持つことができた。認知症対応型デイサービスの運営推進会議は書面開催としたが、ご意見に基づき改善に取り組むよう努めた。また、施設の行事や取り組みを広報紙やホームページに掲載することで川俣ホームの様子を地域へ発信した。

④ 安全確保の強化

感染症予防においては、年間を通じた感染症対策に加え、季節的な感染症対策についても、その時期に合わせた研修を実施することで具体的な対策を講じながら予防に努めた。また、リスクマネジメント活動では、リスクに関する情報を事業所間で共有し、同じような事故が他の利用者に発生するのを未然に防ぐことができた。

⑤ 権利擁護

コロナ禍の外部の目が入らない状況下において、身体拘束廃止と高齢者虐待に関しては、更なる職員の意識付けを行い具体的な例を示して研修を行うことでより理解を深め、防止することができた。

⑥ 質の高い介護サービスの実践

接遇マナープロジェクトを通じて接遇の大切さを学び、また個人で目標を決めて取り組むことで職員の言葉遣いや行動に対する意識が変化し、利用者の立場に立った支援がより良いものとなった。また利用者、家族に向けた満足度調査と居宅介護支援事業所へのアンケートを実施し、寄せられた意見や要望については迅速に対応するよう努めた。

⑦ ケアマネジメント力の向上

各部署それぞれの専門的知識を共有しながら適宜カンファレンスを開催し、利用者本位の介護サービスの立案とサービス提供、改善など PDCA サイクルに結び付けることができた。

(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム

- ① コロナ禍で今までのように大きな行事の実施や家族、地域との関わりを持つことは難しかったが、感染症対策をしながら出来る範囲での行事の開催とレクリエーションを計画的に実施することで、利用者にとって楽しみのある毎日を送れるよう努めた。また、食事、入浴、排泄ケアについて内部研修等を通じて知識を深め、皮膚トラブルを未然に防ぐとともに排泄障害が改善されるなどの成果が見られた。
- ② 利用者の健康状態を多職種で把握し、異状の早期発見につなげることができた。また、看取り介護では、多職種でのカンファレンスをもとに利用者と家族の気持ちに寄り添いながらケアを実施し、面会の制限においても家族への説明を丁寧に行い、ご理解を頂くことができた。
- ③ 施設の食事提供については、季節感のある食材を使用し利用者に喜んでいただけるように努めた。また大きな行事が中止、縮小となったため、季節行事として食に関わる調理レクリエーションを企画、実施し、調理過程を思い出しながら楽しんで頂いた。
- ④ 利用者のニーズに応じた施設サービス計画書の作成と実施において職種間の連携を図ることができ、家族への状態報告を適切に行えた。また行事や面会に制限があった中でもオンライン面会を実施し、随時に近況を報告していくことでつながりを保つ働きかけに努めた。

(3) 川俣ホーム（短期入所生活介護）

- ① 施設を利用の際は、感染症対策を徹底し対応することができた。居宅介護支援事業所とも連携し、利用前には本人以外に家族の健康状態も把

握し、送迎車両の消毒や乗車人数の制限と換気、手指消毒などを徹底しての受入れを行った。また、利用にあたり感染の不安のある利用者、家族に対しては丁寧な説明をするようにした結果、新規利用者も徐々に増え稼働率も上昇した。

- ② 利用者が居宅での生活を継続でき、家族の介護負担軽減を図ることができるよう、居宅介護支援事業所との連携を図り、利用時の情報を共有することで利用が継続できるよう支援できた。利用中は3密を避けたレクリエーションを実施したり、個別で取り組める内容に工夫をして、余暇時間の充実を図ることができた。

(4) 川俣ホームデイサービスセンター

- ① 自立支援及び重度化防止の観点から、今出来ていることが継続できるよう、週に2種類のレクリエーションを準備し、効果を説明しながら取り組むことができた。感染対策のため内容の変更はあったが、職員の関わり方にも工夫を加えることで利用者の好評を得て、楽しい時間を過ごして頂いた。また町内でのコロナ発生に伴い、利用を控えるなど稼働率にも影響があったが、感染対策を十分に行い安心して利用できるよう努め、居宅介護支援事業所に直接訪問して空き状況をお伝えするなどした結果、新規利用者や利用の追加などもあり稼働率の低下を抑えることができた。
- ② 利用者家族に向け個別に行っている「介護技術者教室」は、利用者の家族からの相談を受けたことに対し、介助の方法などを職員がアドバイスをすることで、居宅での介護負担軽減に役立つことができた。
- ③ 認知症の利用者に対しては、家族や居宅介護支援事業所からの情報を共有し、利用者の残存機能を活用できる個別のレクリエーションを行うように努めた。感染症対策のため調理には直接携わらず見て頂くだけの参加となったが、それでも調理作業を思い出して昔話に花が咲くなど楽しんで頂けた。

Ⅲ 各施設利用状況等

特別養護老人ホーム

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)		ベッド稼働率(%)		利用者平均要介護度		営業日数(日)	
		2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
あつかし荘	62	22,408	22,774	99.0	99.4	4.04	4.12	365	366
梁川ホーム	80	29,057	29,036	99.0	99.2	4.23	4.20	365	366
川俣ホーム	60	21,985	21,477	98.7	97.8	4.23	4.25	365	366
法人計	202	73,450	73,287	98.9	98.8	4.17	4.19	365	366

※2年度梁川ホーム措置入所1名(4ヶ月間) 川俣ホーム措置入所1名(12ヶ月間) ※あつかし荘元年度延べ利用人数は措置入所229日分を含む

ショートステイ ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)		ベッド稼働率(%)		1日平均利用者数(人)		営業日数(日)	
		2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
あつかし荘	10	3,083	2,757	84.5	80.4	8.5	7.5	365	366
梁川ホーム	20	5,342	5,968	74.7	81.5	14.6	16.3	365	366
川俣ホーム	20	5,362	4,845	77.3	66.2	14.7	13.2	365	366
法人計	50	13,787	13,570	78.8	76.0	37.8	37.0	365	366

※梁川ホーム及び川俣ホーム特養措置入所者がショートステイの1床を使用

デイサービスセンター ※総合事業含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)		稼働率(%)		1日平均利用者数(人)		開所日数(日)	
		2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
梁川ホームⅠ型	25	6,291	6,507	81.4	84.2	20.3	21.1	309	309
Ⅱ型	12	2,570	2,583	69.3	69.7	8.3	8.4	309	309
川俣ホームⅠ型	20	4,309	4,328	70.2	70.0	14.0	14.0	307	309
Ⅱ型	12	2,273	2,008	61.7	54.2	7.4	6.5	307	309
法人計	69	15,443	15,426	72.4	69.5	50.0	49.9	307	309

※川俣ホーム 利用者コロナ陽性疑いにより2日間自主休業

ケアハウス

事業所名	定員 (人)	月初日平均入居者数(人)			稼働率(%)			営業日数(日)		
		2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比
ケアハウス広瀬	30	27.3	27.9	-0.6	91.0	93.0	-2.0	365	366	-1
法人計	30	27.3	27.9	-0.6	91.0	93.0	-2.0			

居宅介護支援事業所

事業所名	要介護認定調査(件)			居宅サービス計画作成の相談依頼(件)			居宅サービス計画作成(件)		
	2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比
梁川ホーム	39	191	-152	1,993	2,374	-381	1,858	2,139	-281
法人計	39	191	-152	1,993	2,374	-381	1,858	2,139	-281

地域包括支援センター

事業所名	相談延べ件数(件)			訪問件数(件)			介護予防サービス計画作成(件)			地域講座(件)		
	2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比	2年度	元年度	前年度比
伊達市梁川地域包括支援センター	3,290	3,815	-525	976	1,301	-325	2,285	2,508	-223	5	25	-20
法人計	3,290	3,815	-525	976	1,301	-325	2,285	2,508	-223	5	25	-20

事業報告の附属明細書

令和2年度 あつかし荘市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
令和2年 4月	4	0	1	9	9	1	0	20	17	0	1	62	3	3
5月	4	0	1	9	9	1	0	20	18	0	0	62	3	4
6月	4	0	1	8	8	2	0	20	18	0	0	61	1	0
7月	4	0	1	8	8	2	0	21	18	0	0	62	1	3
8月	4	0	1	8	8	2	0	20	17	0	0	60	4	2
9月	4	0	1	8	9	2	0	23	15	0	0	62	1	1
10月	4	0	1	9	8	2	0	23	15	0	0	62	0	1
11月	4	0	1	8	8	2	0	23	15	0	0	61	2	1
12月	4	0	1	8	9	2	0	22	16	0	0	62	1	1
令和3年 1月	4	0	1	8	9	2	0	23	15	0	0	62	2	3
2月	4	0	1	8	8	1	0	23	16	0	0	61	2	1
3月	4	0	1	9	8	1	1	22	16	0	0	62	2	3
合 計	48	0	12	100	101	20	1	260	196	0	1	739	22	23

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)
令和2年 4月	0	0	11	52	0	0	0	130	58	0	0	251	8.4	83.7
5月	0	0	12	47	0	0	0	159	55	0	0	273	8.8	88.1
6月	0	0	12	45	0	0	0	145	59	0	0	261	8.7	87.0
7月	0	0	12	50	8	0	0	155	60	0	0	285	9.2	91.9
8月	0	0	12	50	0	0	0	153	44	0	0	259	8.4	83.5
9月	0	0	14	74	0	0	0	125	37	0	0	250	8.3	83.3
10月	0	0	12	42	0	0	0	119	100	0	0	273	8.8	88.1
11月	0	0	14	43	0	0	0	125	72	0	0	254	8.5	84.7
12月	0	0	14	50	0	0	0	113	76	0	0	253	8.2	81.6
令和3年 1月	0	0	0	19	0	0	0	123	85	0	0	227	7.3	73.2
2月	0	0	0	0	0	0	0	111	109	0	0	220	7.9	78.6
3月	0	0	0	0	12	0	0	111	154	0	0	277	8.9	89.4
合 計	0	0	113	472	20	0	0	1569	909	0	0	3083	8.4	84.5

事業報告の附属明細書

令和2年度 梁川ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
令和2年 4月	(人) 2	(人) 0	(人) 0	(人) 42	(人) 12	(人) 10	(人) 3	(人) 6	(人) 4	(人) 1	(人) 0	(人) 80	(人) 0	(人) 0
5月	2	0	0	42	12	10	3	6	4	1	0	80	0	0
6月	2	0	0	42	12	10	3	6	4	1	0	80	1	1
7月	2	0	0	42	12	10	3	6	4	1	0	80	2	3
8月	2	0	0	41	12	10	3	6	4	1	0	79	3	4
9月	1	0	0	40	12	11	3	6	4	1	0	78	2	0
10月	1	0	0	41	12	11	3	7	4	1	0	80	1	5
11月	1	1	0	38	12	10	2	7	4	1	0	76	4	0
12月	1	2	0	40	13	10	2	7	4	1	0	80	0	1
令和3年 1月	1	2	0	39	13	10	2	7	4	1	0	79	3	2
2月	1	2	0	41	13	11	2	7	2	1	0	80	1	1
3月	1	2	0	40	14	11	2	7	2	1	0	80	0	0
合 計	17	9	0	488	149	124	31	78	44	12	0	952	17	17

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別		福島市		伊達市				桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
		福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町					延日数		
		(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)
令和2年	4月	0	0	4	337	53	3	0	18	0	2	417	13.9	73.2
	5月	0	0	6	379	43	6	0	17	0	2	453	14.6	76.9
	6月	0	0	12	370	55	5	0	17	0	2	468	15.6	82.1
	7月	0	0	7	401	65	2	0	19	0	2	510	16.5	86.6
	8月	0	0	0	417	55	2	0	16	0	2	492	15.9	81.8
	9月	0	0	9	338	61	2	0	21	0	2	433	14.4	72.2
	10月	0	0	0	337	73	4	0	18	0	3	435	14.0	70.2
	11月	0	0	0	342	71	5	0	18	0	2	438	14.6	73.0
	12月	0	0	4	372	44	5	0	19	0	2	446	14.4	71.9
	令和3年 1月	0	0	0	336	63	5	0	19	0	2	425	13.7	68.5
	2月	0	0	4	322	51	5	0	16	0	2	400	14.3	71.4
	3月	0	0	0	339	59	6	0	19	0	2	425	13.7	68.5
合 計		0	0	46	4290	693	50	0	217	0	25	5342	14.6	74.7

事業報告の附属明細書

令和2年度 川俣ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
令和2年 4月	(人) 3	(人) 4	(人) 1	(人) 1	(人) 2	(人) 2	(人) 5	(人) 1	(人) 1	(人) 39	(人) 2	(人) 61	(人) 1	(人) 1
5月	3	3	1	1	2	3	5	1	1	39	2	61	0	0
6月	3	3	1	1	2	3	5	1	1	39	2	61	0	0
7月	3	3	1	1	2	3	5	1	1	39	2	61	1	1
8月	3	3	1	1	2	3	5	1	1	39	2	61	2	1
9月	3	3	1	1	2	3	5	1	0	40	2	61	3	3
10月	3	3	1	1	2	3	4	1	0	42	1	61	3	4
11月	3	3	1	1	2	3	3	1	0	43	1	61	2	2
12月	3	3	1	1	2	3	4	1	0	42	1	61	2	2
令和3年 1月	3	2	1	2	2	3	3	1	0	43	1	61	3	2
2月	3	2	1	2	2	3	3	1	0	42	1	60	2	2
3月	3	2	1	2	2	3	2	1	0	44	1	61	1	2
合 計	36	34	12	15	24	35	49	12	5	491	18	731	19	19

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
令和2年 4月	(日) 0	(日) 8	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 20	(日) 4	(日) 0	(日) 0	(日) 360	(日) 0	(日) 392	(人) 13.1	(%) 68.8
5月	0	7	0	0	0	2	8	0	0	395	3	415	13.4	70.5
6月	0	4	0	0	0	0	4	0	0	382	0	390	13.0	68.4
7月	0	21	0	0	0	0	7	0	0	430	0	458	14.8	77.8
8月	0	39	0	0	0	0	5	0	0	451	0	495	16.0	84.0
9月	0	29	0	0	0	0	6	0	0	426	0	461	15.4	80.9
10月	0	33	0	0	0	0	4	0	0	459	0	496	16.0	84.2
11月	0	33	0	0	0	0	5	0	0	451	0	489	16.3	85.8
12月	0	38	0	0	0	0	7	0	0	462	0	507	16.4	86.1
令和3年 1月	0	28	0	0	0	0	4	0	0	427	0	459	14.8	77.9
2月	0	35	0	0	0	0	2	0	0	335	0	372	12.8	69.9
3月	0	33	0	0	0	0	10	0	0	385	0	428	13.8	72.7
合 計	0	308	0	0	0	22	66	0	0	4963	3	5362	14.7	77.3